

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

ワークショップ実施計画書

制作団体名	株式会社 東京コンサーツ
公演団体名	組踊伝承の会

内容
<p>① 沖縄及び、沖縄の古典芸能について説明</p> <p>② 舞踊の見本演舞</p> <p>③ 舞踊の所作「こねり手」「ドゥーブイ」の体験</p> <p>④ 三線の楽器説明</p> <p>⑤ 三線の演奏に合わせて「浜千鳥」の1番を踊る。</p> <p>ワークショップでは、琉球舞踊を実際に体験していただき、沖縄の古典芸能に直に触れていただく。中でも特徴的な、「手踊り」という、手のみで行う、独自の舞踊表現を体験していただく。演目は「浜千鳥」をとりあげ、手ぶり「こねり手」、身ぶり「ドゥーブイ」を、見本演舞で見えていただき、実際に手ぶり身ぶりの練習をおこない、三線の生演奏にあわせて踊る。</p>

タイムスケジュール（標準）
沖縄や沖縄の芸能についての解説（15～20分程） 演舞の見本、踊りの体験（15～20分程） 休憩（10分） 三線の楽器説明（10分程） 三線との「浜千鳥」舞踊体験（20分程） ※解説や鑑賞のタイミング変更可能性あり

派遣者数
演者5名＋同行スタッフ1名

学校における事前指導
特になし。

令和4年度文化芸術による子供育成推進事業－巡回公演事業－

本公演実施計画書

制作団体名	株式会社 東京コンサーツ
公演団体名	組踊伝承の会

演目

第1部 琉球舞踊・組踊解説
若衆踊り「若衆ぜい」 雑踊り「浜千鳥」

組踊ってなあに？

①組踊の歴史 ②組踊の音楽 ③組踊の舞台演出 ④組踊のせりふ

第2部 組踊 執心鐘入(玉城朝薫作)

派遣者数

演者 13名 + 同行スタッフ 5名 (舞台監督、字幕、音響、照明、マネージャー)

タイムスケジュール (標準)

第1部 琉球舞踊・組踊解説(35分)

休憩(10分)

第2部 組踊「執心鐘入」(45分)

実施校への協力依頼人員

特に要望しません (子供の整列要員として、先生方にご協力いただいております)。

演目解説

第1部 琉球舞踊・組踊解説(35分)

組踊と深い関係にある、琉球舞踊の「若衆踊り」と「雑踊り」を鑑賞していただき、琉球の音楽・舞踊・衣装について理解を深めていただきます。

楽器や舞台進行の約束事「型」、登場人物の表現方法、組踊の概要について解説者がわかりやすく紹介いたします。

若衆踊り「若衆ぜい」は、元服前の少年が「ぜい」という天下泰平を寿ぐ小道具(旗)を振りながら舞う華やかな作品です。雑踊り「浜千鳥」は、琉球独特な手ぶり「こねり手」、身ぶり「ドゥーブイ」が、ふんだんに盛り込まれた女踊りで、帯を用いずに着付ける「ウシンチー」等、分かりやすい琉球独自の表現を用いて、子どもの意識を引き込む事を意識します。

休憩(10分)

第2部 組踊「執心鐘入」(45分)

組踊「執心鐘入」は、1719年に初演された組踊の初作品です。

道成寺説話の系譜にある「道成寺もの」の一つ。琉球独自の人物場面設定になっており、道成寺説話の広がりを示す貴重な作品と言えます。

児童生徒の公演への参加方法、公演に参加させるための工夫

沖縄の古典芸能は、日本における様々な文化のルーツとなっているものの、現代人にはなじみのないジャンルである事から、まずは、沖縄の歴史や古典芸能について、分かりやすく説明する。ワークショップの体験では、実際に立ち上がって演舞をしていただくことで、琉球舞踊や組踊のリズム感を、身体表現を通して、体感していただく。

また、三線の楽器説明や、三線の生演奏で踊る事で、本公演の内容にも関心と期待を持っていただけるよう、工夫を凝らす。本公演の内容は、子供にも筋書きが分かりやすい演目を選んでいる。

児童生徒とのふれあい

感染症対策を第一優先事項として、ワークショップの時には、演者が生徒の手取り指導をする機会を通常よりも減らす事としながらも、子供が安全に体験出来るための準備をする。